

会議名 財務常任委員会

日時 令和2年9月25日(金) 午後1時56分～午後2時15分

場所 第2・第3委員会室

出席議員(14名) 委員長 黒川 武 副委員長 片岡健一郎 委員 鬼頭博和
委員 谷平敬子 委員 水野忠三 委員 大野慎治
委員 宮川 隆 委員 須藤智子 委員 井上真砂美
委員 伊藤隆信 委員 関戸郁文 委員 堀 巖
委員 木村冬樹 委員 榊谷規子

欠席議員 なし

説明員 総務部長 中村定秋、健康福祉部長 山北由美子、建設部長 片岡和浩、消防長 柴田義晴、教育こども未来部長 長谷川忍
行政課長 佐野剛、市民窓口課長 近藤玲子、同主幹 小崎尚美、健康課長兼保健センター長兼休日急病診療所所長 原咲子、同統括主査 須田かおる

事務局出席 議会議務局長 丹羽至、同主任 高野真理子

付議事件及び審議結果

議案番号	事件名	採決結果
議案第 89 号	令和2年度岩倉市一般会計補正予算(第7号)	全員賛成 原案可決

財務常任委員会（令和2年9月25日）

◎委員長（黒川 武君） 関係者の皆さんもおそろいでございますので、ただいまから財務常任委員会を開催いたします。

当委員会に付託されました案件は議案1件であります。

審査に入る前に、当局からのご挨拶をお願いいたします。

◎総務部長（中村定秋君） 追加の提案ということで、なかなか短い期間ではございますが、よろしくをお願いいたします。

◎委員長（黒川 武君） それではこれより審査に入ります。

議案第89号「令和2年度岩倉市一般会計補正予算（第7号）」を議題とします。

当局の説明はいかがいたしましょうか。

〔「省略」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（黒川 武君） 当局の説明を省略し、直ちに質疑に入ります。

初めに、款2総務費についての質疑を許します。

質疑はございませんか。

◎委員（木村冬樹君） まず、このコンビニ交付サービスということで、先行して実施している自治体が県内や近隣でどうなっているのか、どのぐらいあるのかということと、先ほどの実証実験に参加のことも含めまして、愛知県内また近隣の自治体の動きがどうなっているのかという点についてお聞かせください。

◎市民窓口課長（近藤玲子君） コンビニ交付サービスの県内での導入状況につきましては、県内54市町村中26団体、令和2年8月末現在の状況でございますが、県内26団体48パーセントが導入済みであるという状況でございます。また、近隣では、一宮市、春日井市、小牧市、稲沢市、清須市、北名古屋市が既にコンビニ交付サービスを導入しています。

また、今回の実証事業で参加団体となりましたのは、県内ではいずれも近隣の犬山市、江南市、豊山町、大口町、扶桑町となっております。本市と同じく令和3年2月からコンビニ交付サービスを導入する予定でございます。

◎委員（堀 巖君） 午前6時半から午後11時までというふうに限定してあるところの理由は何でしょうか。

◎市民窓口課長（近藤玲子君） こちらの理由については、J-LISのほうのシステムの運用の時間ということで、本市の決めている時間ではなくて、全国一律で実施しておりますので、その時間をお示ししているものでございます。

◎委員長（黒川 武君） 他に質疑はございませんか。

◎委員（木村冬樹君） 市内でキオスク端末がある店舗というのはどのくらいあるのでしょうか。全てのところにあるのか、こういった点についてお聞かせください。

◎市民窓口課長（近藤玲子君） 市内にキオスク端末を設置している店舗は、コンビニエンスストアになりますが、市内にコンビニエンスストアは20か所ございますが、1か所はキオスク端末は設置されていなくて、19か所をご利用いただくことができます。

◎委員（木村冬樹君） 合わせてですけど、この事業というのはやはりマイナンバーカードの普及が一つの目的であるなあというふうに思うわけですけど、そういったところでの今の普及状況といいますか、コロナ後も含めて、増えているのかなあというところがあるわけですけど、教えていただきたいと思います。

◎市民窓口課長（近藤玲子君） 8月末現在のマイナンバーカードの交付状況でございますが、交付した枚数は7,765枚、交付率は16.1パーセントでございます。

◎委員長（黒川 武君） 他に質疑はございませんか。

◎委員（木村冬樹君） わかりました。そう飛躍的に伸びているという状況ではないかなあと感じております。

この歳入として入ってくる当初の導入費用と、ランニングコストについても一定みられるというような形で、交付税措置がされるというふうになっていますが、これは令和4年度で終わりということによろしいでしょうか。その見通しはどうでしょうか。

◎市民窓口課長（近藤玲子君） 特別交付税措置につきましては、令和2年度から令和4年度までとなっております。令和3年度以降、4年度までになりますが、J-LISへの運営負担金、また庁舎システムの保守料、コンビニ委託手数料、こちらに対して二分の一措置されるというものでございます。

◎委員（堀 巖君） 本会議で聞いた戸籍について、もう少し教えてほしいんですけども、要は今の現状でも他の自治体が戸籍のコンビニエンス交付をやっているのであれば、岩倉市のキオスク端末でも他の自治体に本籍地のある者が取得できるという、そういう解釈でよろしいでしょうか。

◎市民窓口課長（近藤玲子君） 他の自治体に本籍地のある方については、その本籍地がコンビニ交付サービスを導入していれば、マイナンバーカードで、コンビニ等でキオスク端末のあるところで取得することができるということでございます。

◎委員（堀 巖君） わかりました。今回岩倉市が整備することとは関係のない話だということによろしいですか。

◎市民窓口課長（近藤玲子君） 今回本市でコンビニ交付を導入することとはまた別のことでございます。

◎委員（堀 巖君） 説明資料の中の、細かいことですが、住民票の写しや印鑑登録証明書が取得できるサービスと書いてあります。これは、住民票及び印鑑登録証明書の2つの種類だけができるということの表記でよろしいですか。

◎市民窓口課長（近藤玲子君） 議員がおっしゃる通り今回のコンビニ交付サービスの対象は、住民票の写しと印鑑登録証明書、この2種類の証明書が取得できるというものでございます。

◎委員（堀 巖君） 他に住民票関係の証明書、住民票以外にもいっぱい証明書があって、市民の方が結構取得する率の高い証明書って他にあると思うんですけども、そのことについての今後の展開っていうのは、市独自あるいは国の動向含めて、どのようになっているのでしょうか。

◎市民窓口課長（近藤玲子君） 今回、証明書の数については限定されているという、実証事業の中では国が、住民票の写し、印鑑登録証明書ということで2種類の限定の事業でございますので、ただこの事業の対象となっている証明書ですね、非常に交付の率が高いもの、種類としては6種類、他にもございますが、その中でも、全国の状況でございますが、住民票については全体の48パーセントを占めている。印鑑証明については38パーセントを占めているということで、多くの住民の方のご要望に答えられているものであるかというふうには考えております。ただ今後、戸籍の交付、税証明の交付等も取得状況からしますと、7パーセント、6パーセント程度ということで、取得率は低いものではございますが、今後状況を見ながら、別にシステムを構築する場合、多額の経費が掛かりますので、国のほうに今回の実証事業で構築されたものに更に機能が追加されるように市としては要望してまいりたいと考えております。

◎委員（梶谷規子君） 市民の利便性の向上及び窓口業務の負担軽減を図るためというふうな導入だということではございますが、便利さの陰に危険性っていうのがやっぱり否めないと思っておりますが、窓口業務の負担軽減というところでは、これまでも市民の利便性の向上と併せて日曜日の窓口業務を開けたりとか、これまでも岩倉市では様々な、市民の利便性を図るためについていうことで努力してきていただいて、拡大してきてもらっていると思うんですが、このサービスの拡大は全体のどれくらいを見込んでいら

っしゃるのか、業務の中での。お聞かせください。

◎市民窓口課長（近藤玲子君） 今年度については令和2年度2月と3月の実施になりますので、年間の交付状況から見て約3パーセント程度ご利用いただければと見込んでおります。来年度については1年間ということで、来年度は5パーセントのご利用があればということで見込んでおります。

◎委員（梶谷規子君） このコンビニ交付が広がるからといって、これまでの日曜窓口とかの業務を縮小するとか、そういった方向は考えはしてないということの確認でよろしいでしょうか。

◎市民窓口課長（近藤玲子君） 今回のコンビニ交付サービスは市民サービスの向上を図るものとして実施をいたします。また、今後の日曜窓口の縮小については現段階では考えておりません。

◎委員（大野慎治君） コンビニ交付サービスは市民の利便性の向上のためということではございますが、やっぱりマイナンバーの取得率を向上させるために、先日稲沢市の市民課の方がリーフウォークでマイナンバー申請サポートということをやって、結構人がいらっしゃいました。岩倉市として独自でそういったことを今後検討されるのかどうかという、見解をお聞かせください。

◎市民窓口課長（近藤玲子君） マイナンバーカードの交付率を上げていくことは大変重要なことだと思っておりますので、今後、検討研究してまいりたいと考えております。

◎委員（宮川 隆君） 確認のためお伺いいたします。印鑑証明に関しては通常1種類しかないと思うんですけども、住民票に関しては多くの選択肢があるというふうに思います。今回の導入にあたって、窓口で発行されている選択肢はそのまま移行されるというふうに思っております。よろしいのでしょうか。

◎市民窓口課長（近藤玲子君） 住民票に関しては個票であったり世帯票であったり、マイナンバーが記載されているものだったり記載されていないものがございますが、同様に全く同じものが取得できるようになっております。ただ、亡くなられた方の除票だとかそういった一部取得できないものはございます。

◎委員長（黒川 武君） ほかに質疑はございませんか。

〔挙手する者なし〕

◎委員長（黒川 武君） 以上で款2総務費についての質疑を終わります。

続いて款4衛生費についての質疑を許します。

◎委員（水野忠三君） 高齢者インフルエンザ予防接種費用無償化事業でございます。以前いただいた説明資料の事業の内容の、補助の内容、期間のと

ころでございしますが、補助の内容として自己負担額1,200円を今年度限り無償化するとありまして、期間のほうは令和2年10月1日から令和3年1月31日までとなっておりますが、今年度に限り、であれば令和3年3月31日ではないかと思うんですが、この点はいかがでしょうか。

◎健康課統括主査（須田かおる君） 例年インフルエンザのほうはワクチンの抗体の付きのことで1月31日までということで県内で推奨されております。岩倉市内に限っては、もし接種希望者がいて病院、先生の判断により打つということになれば3月31日までは例年受けておりますけれども、一応、免疫の付きということから、県のほうでは1月31日までということで推奨されておりますので、そのようにしておりますのでよろしくお願いいたします。

◎委員（木村冬樹君） 本会議で榎谷議員が聞きましたけど、子ども及び妊婦のインフルエンザ予防接種、任意接種の助成なんですけど、今日の新聞なんかでも拡大してやっているところが出てきてますので、18歳までとか中学3年生までとか、やっぱり受験生を意識した政策が取られているんじゃないかなというふうに思うんですけど、まったくそのへんについては岩倉市は検討がされなかったんでしょうか。そのへんについてお聞かせください。

◎健康課長兼保健センター長兼休日急病診療所長（原 咲子君） 国の方針で、日本感染症学会の提言の中で強く推奨されている対象ということで、そちらのほうに重きを置いて決めさせていただきました。受験生の方もとても必要な対象になるかとは思いますが、国の方針に基づいて決めさせていただいた状況です。

◎委員長（黒川 武君） 他に質疑はございませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（黒川 武君） 以上で款4衛生費についての質疑を終結いたします。

続いて、歳入についての質疑に入ります。質疑はございませんか。

〔挙手する者なし〕

ないようですので、歳入についての質疑を終結いたします。

お諮りします。

委員間討議を省略したいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（黒川 武君） 御異議なしと認め、委員間討議を省略します。

次に、議案に対する討論に入ります。

討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（黒川 武君） 討論はないようですので、直ちに採決に入ります。
議案第89号「令和2年度岩倉市一般会計補正予算（第7号）」について、賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

◎委員長（黒川 武君） 挙手全員であります。

採決の結果、議案第89号は全員賛成により、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で当委員会に付託されました議案は議了いたしました。

なお、本委員会の委員長報告の文案につきましては、正・副委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（黒川 武君） 御異議なしと認め、そのように決しました。

以上で財務常任委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。